

第5回 大橋川景観アドバイザー会議 議 事 要 旨

【日時及び場所】

日 時：平成26年3月24日（月）

場 所：島根県市町村振興センター6階 大会議室1

【出席者】

大橋川景観アドバイザー委員

足立委員、飯野委員、片寄委員、松本委員、吉田委員、館委員

事務局

出雲河川事務所

【議事次第】

開 会

挨 拶（出雲河川事務所長）

座長挨拶

議 事

閉 会

【配付資料】

議事次第

席次表

資料－1 向島川樋門整備説明資料

【議事概要】

<樋門設置箇所について>

- ・この場所は下流部の比較的自然景観から、上流部の都市的な景観に変わっていくちょうど中間的な位置付の箇所であり、うまく連続的に繋げていくためのとても重要なポイントになる場である。
- ・場所としては、周辺に大きい建物があり、連続性ということではそれらに合わせる形が現実的である。
- ・この地域はくにびき大橋付近のような近代的な建物と、昔からの建物が共存している地域であり、突出した物をもってくるよりは、今ある景観に対して、市民の方が見てシンプルで違和感のないデザインをした方が良い。

<樋門の構造について>

- ・樋門の形式は、用地への影響が最も少ない、背面にゲートを配置する引き上げ式ゲートで了承。
- ・ゲートを引き上げるためのラックの形式は、高さを抑えることが可能な屈曲型とする。
- ・操作台部分のコンクリートは、できるだけ薄い構造でアーチ型でなく、周辺の構造物に習って直線型で馴染ませる。
- ・操作台の手すり部分の形状がもっとスッキリすると良い。

<樋門のデザインについて>

- ・町の風景にできるだけ溶け込ませるということを基本として、デザイン検討を行う。
- ・操作台の部分は、TSKのデザインに揃えるような形でガラスである程度覆ってしまうことが、デザイン的にスッキリと溶け込むことができるのではないかと考える。
- ・鋼材部分の色はブルーグレイではなく、グレーか茶かあるいはステンレスの色合いとした方が良い。
- ・柵や設備の形状や色などデザイン的なものは、モニタージュ（イメージパース）を作成し、次回会議で審議する。
- ・個性的なデザインにする為には明確なコンセプトや全体的な位置付けが必要。全体の中でこの場所はどのような役割があるのかははっきりしないと個性的なデザインには出来ないと考える。したがって、周辺の雰囲気になんか少しづつでも調和させる方が良いのではないかと考える。
- ・樋門の周辺には樹木が全く計画されていないが、少し大きめの樹木を配置することによってある程度隠れるのではないかと考える。

○樋門の設置位置や構造については了承。

樋門のデザインについて、今回意見を踏まえ再検討し、次回会議にて審議する。

<大橋川改修に伴う河川構造物の景観設計指針策定にあたって>

- ・基本的には周囲の景観に無理なく溶け込ますということをひとつのベースに考える。
- ・箇所によっては歴史的景観への配慮が必要。
- ・指針を作成する中で、デザインやビューポイントのある箇所の施設の扱いとか景観要素を入れて考えていくようなプロセスにしていったらどうか。
- ・大橋川沿川の河川構造物については、その都度出てきたものに対して議論するのではなく、全体のトータルデザインの中の構造、機能的施設がどう位置付けられているのか、例えば、施設をビューポイントのようなシンボリックなものとして整備するのか、又は、シンプルに景観の中

に同化させるように整備するといったような、基本的な施設の位置付けの様なものも考える必要がある。

<その他>

- ・水辺空間をどのように活用するかということも課題になってくる。そういったことを含めてデザインやその他に活かしていければと思う。
- ・今後、大橋川沿川で看板設置の要望が出てきた時のために、ある程度色や文字の基準を作っておく必要があると考える。
- ・樋門周辺の地権者の皆さんにも協力してもらいながら、景観づくりを行っていくといった一つの前例をつくりたい。例えば、背景となる樹木など。

以 上